

2021年度／単年度計画

2021年度取組方針

基本的な考え方

「リージョナル・ランドマーク・エアポート」の実現に向け、公共施設等運営権制度の下での新たな組織・運営体制及び県・促進協と連携した航空営業体制を確立するとともに、二次交通施策の検討や新規就航受入のための環境整備などに取り組みます。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、特に事業の先行きが見通しづらい直近においては、その目まぐるしく変わる状況に合わせた戦略の立案と適時の実行、変化が生じた際の適切な順応を念頭に置いた、柔軟な経営を行って参りたいと考えております。

旅客数等目標値

	2020年度 (見込み)	2021年度 (目標)
旅客数	11万人	35万人
国内線	11万人	29万人
国際線	0万人	5万人
貨物量	35t	253t

✈️ 空港活性化に関する計画

旅客数及び貨物取扱量の増加

- ウイズコロナ禍での旅行者行動態様に併せた施策の実施
- 内際航空業界のバリューチェーン分析に則した営業施策の立案とリソース配分・投下
- アクセスバスの路線維持・利用促進
- 空港ファシリティの改善
 - ・ チェックインカウンターの再配置及びセミインライン方式への切り替え
 - ・ 5番ボーディングブリッジの新設 (PBB)
- ポータルサイト・SNS等を活用したオンライン施策の実施

旅客ターミナルビル入館者数の増加

- 空の日や富士山の日、ランウェイウォークなどを通じた集客イベントの実施
- 空港周辺地域をターゲットとした媒体作成・配布

空港利用者の利便性向上

- ストレスのない空港滞在時間の実現
 - ・ 自動チェックイン機設置
 - ・ チェックインカウンター再配置及びセミインライン方式導入による待合スペース有効活用
- ターミナル内商業機能の充実

地域連携事業

- 県内観光資源と連携した旅行商品やイベントの造成
- 県内DMOと連携した地域の観光資源等の情報発信
- 「空のしおり-3776-」の整備によるヒト・モノの交流活性化



開港12周年キャンペーン
マスコット「コジコジ」

ビジネスジェット等の利用拡大

- ビジネスジェットに係る諸官庁や事業者との利用拡大に向けた協議

✈️ 空港運営に関する計画

安全・安心の確保

- コロナ禍における確実なウイルス感染対策
- 自然災害や事故時の情報共有、危機対応力の強化
- 増改築工事の安全／確実な管理

運営の効率化

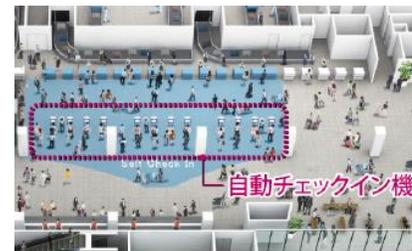
- ロボット活用等の実証実験の拡大 (除草、清掃、警備等)



航空機事故対応訓練の様子 (2020年)

✈️ 更新投資計画

- チェックインカウンター他改装
- ボーディングブリッジ新設 (5番スポット)



自動チェックイン機設置イメージ
(ターミナルビル1F)



ボーディングブリッジ設置イメージ
(上記は現在の4番スポット)